

危機管理室

一般会計要求総額 150百万円
(対前年度 ▲56.6%)

【令和4年度 予算要求の経営方針】

危機管理室は、「元気発進！北九州」プラン（北九州市基本計画）に掲げる「災害などに強いまちづくり」に向けて、本市での災害や、東日本大震災や熊本地震、各地で頻発する豪雨災害の教訓と支援の経験等を踏まえた「地域防災計画の見直し」や、防災関係機関等と連携した防災訓練を実施するなど、「想定を超える災害でも命を守れる防災体制」の強化を図り、総合的な防災体制の充実強化に取り組んでいきます。

また、市民が自ら「命を守りぬく」ことができる自助・共助の力の向上につながる事業をすすめ、地域防災力の充実強化を図ります。

【令和4年度 予算要求の基本的な考え方】

①：新規事業、②：拡充事業

①想定を超える災害でも命を守れる防災対策の充実強化 要求額95百万円（対前年度 ▲19%）

住民の「自助」意識の醸成や、地域住民が助け合う「共助」による防災対策を推進し、地域防災力の充実強化を図る。

- ② 地域と連携した避難所開設・運営事業
- ① 個別避難計画作成促進事業
- 避難所における感染症予防対策
- ② みんな de Bousai まちづくり推進事業



みんな de Bousai まちづくり推進事業「地区Bousai会議」の様子

①防災訓練を通じた関係機関や地域との連携強化 要求額11百万円（対前年度 ▲1%）

防災関係機関との連携の強化、市民一人ひとりの防災意識の向上や避難行動の普及を図るため、実践的で多様な防災訓練を実施する。

- 市総合防災訓練、区防災訓練

①被災地への支援 要求額10百万円（対前年度 ▲5%）

熊本地震及び令和2年7月豪雨等、各災害の被災地へ市職員を派遣するなど、被災地のニーズに即した支援活動を行う。

- 被災地復興支援事業

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和4年度に実施することが確定しているものではありません。